

社会安全政策研究所活動ニュース

本研究所が 2023 年 1 月から 2023 年 12 月までに行った主な研究活動は、以下のとおりです。

I. 共同研究（I-A）・「子供を守るための地域連携研究」の実施

2023 年度には引き続き、2018 年度に警察政策学会の一部会としても承認された「子供を守るための地域連携研究」を実施し、被害者化・加害者化から子供を守るための警察を起点とした地域連携に関する研究を実施しました。

詳細は下記 URL をご参照ください。

活動報告：

http://www.waseda.jp/prj-wipss/kodomochiiki_2018.html

II. 共同研究（I-B）・独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業の基盤研究（C）「国際犯罪空間の多様化への国際法上の対応枠組」の実施

2023 年度には引き続き、2021 年度に採択された独立行政法人日本学術振興会の科学研究費助成事業の基盤研究（C）「国際犯罪空間の多様化への国際法上の対応枠組」を実施しました。

詳細は下記 URL をご参照ください。

https://prj-wipss.w.waseda.jp/kaken_21K01169_report.html

III. 共同研究（I-C）・「大都市治安（安全安心）研究」の実施

2023 年度には引き続き、2016 年度に警察政策学会の一部会としても承認された「大都市治安（安全安心）研究」を実施し、新宿区を始めとした外国人集住都市の比較研究を通じ、より安全で安心なまちづくりを行うための政策等に関し検討を行いました。

詳細は下記 URL をご参照ください。

<http://www.waseda.jp/prj-wipss/index.html>

IV. 共同研究（II-A）・「司法から福祉へつなぐダイヴァージョン研究会」の

実施

「司法から福祉へつなぐダイヴァージョン研究会」を 2023 年も継続して実施しました。

詳細は下記 URL をご参照ください。

活動報告：

https://prj-wipss.w.waseda.jp/teichakuken_index.html

V. 共同研究（II・B）・「犯罪者の就労支援研究」の実施

「犯罪者の就労支援研究」を 2023 年も継続して実施しました。

VI. 共同研究（II・C）・「英米少年法研究」の実施

「英米少年法研究」を 2023 年度も継続して実施し、前年度に引き続き Susan Guarino-Ghezzi & Edward J. Loughran, “Balancing Juvenile Justice” の翻訳作業を行いました。

VII. 共同研究（II・D）・「日豪犯罪処理システム比較研究会」の実施

2023 年度には引き続き、2018 年度より開始した「日豪犯罪処理システム比較研究会」を実施しました。

詳細は下記 URL をご参照ください。

<https://prj-wipss.w.waseda.jp/nichigohikaku.html>

VIII. 2023 年度早稲田矯正保護展の開催

2023 年 11 月 24 日（金）に、社会安全政策研究所を主催団体の一つとして、第 27 回早稲田矯正保護展（テーマ：「特定少年・若年犯罪者の社会復帰」）が開催されました。

詳細は下記 URL をご参照ください。

https://www.waseda.jp/prj-wipss/hogoten_report_2023.html

IX. 定例研究会の開催

本研究所では、第16期（2023年1月から2023年12月まで）として計6回の定例研究会を開催しました（原則として報告者は2名で、奇数月の第三土曜日に開催）。

報告タイトルは、以下のとおりです。

1. 第81回定例研究会（2023年1月21日開催）

(1) 「犯罪を行った精神障害者の処遇」

柑本 美和 招聘研究員（東海大学法学部法律学科教授）

(2) 「刑事司法領域の多機関連携についての一考察」

小長井 賀與 招聘研究員（長野大学社会福祉学部教授）

2. 第82回定例研究会（2023年3月18日開催）

(1) 「刑務所出所者等への住居確保の意義—オランダにおけるアフターケア施設の取組を参考に—」

石田 咲子 招聘研究員（信州大学先鋭領域融合研究群社会基盤研究所助教）

(2) 「国際法に基づくテロ資金規制と多文化共生の両立—FATF 勧告およびSDGs等の国内実施の観点から—」

尋木 真也 招聘研究員（愛知学院大学法学部准教授）

3. 第83回定例研究会（2023年5月13日開催）

(1) 「詐欺犯罪の諸相」

阪井 光平 招聘研究員（弁護士）

(2) 「衛星通信に対する『有害な干渉』禁止規範の展開—サイバーセキュリティの観点から—」

高屋 友里 招聘研究員（東京大学未来ビジョン研究センター客員研究員）

4. 第 84 回定例研究会 (2023 年 7 月 15 日開催)

- (1) 「逮捕されたときがチャンス！！ 回復につなげる司法サポート」

志立 玲子 招聘研究員 (NPO 法人アパリ事務局長)

- (2) 「スポーツ事故における民事責任の再構成」

藤原 究 招聘研究員 (杏林大学総合政策学部准教授)

5. 第 85 回定例研究会 (2023 年 9 月 9 日開催)

- (1) 「医療用規制薬物などの乱用に関する法的問題とその対応」

于 佳佳 招聘研究員 (上海交通大学ロー・スクール准教授)

- (2) 「発達支持的生徒指導の成果としての『学校風土』と学校保護要因に関する研究—米国の学校アカウンタビリティの検討を通して—」

宮古 紀宏 招聘研究員 (国立教育政策研究所生徒指導・進路指導
研究センター総括研究官)

6. 第 86 回定例研究会 (2023 年 11 月 18 日開催)

- (1) 「拘禁刑の下での受刑者処遇の在り方」

小西 暁和 研究所員 (早稲田大学法学学術院教授)

- (2) 「国際法の形成における必要性 “necessity” の位置付け—海洋環境保護の事例を題材に—」

小中 さつき 招聘研究員 (学習院女子大学国際コミュニケーション学科等非常勤講師)

X. 研究員の異動

本研究所では、以下の研究員の新規嘱任・身分変更がありました (2024 年 2 月から 2025 年 3 月まで。50 音順)。

1. 新規嘱任

- (1) 研究所員

なし

(2) 招聘研究員

渡邊 祥子（弁護士，にじいろ面会交流支援代表）

2. 身分変更

棚村 政行（研究所員から顧問へ）

※なお，本研究所の活動につきましては，本研究所のホームページもご参照下さい（URL: <http://www.waseda.jp/prj-wipss/>）。